



えん だより 11月号



YMCA 保育園ねがい

2025年11月1日発行

0歳児：落ち葉

「神は愛です。」ヨハネの手紙14章16節

金木犀の香も冷たい雨に飛ばされ、冬支度が始まりました。10月下旬には想定外にインフルエンザが流行しました。保護者のみなさまのご協力により、収束に向かっています。引き続き感染症予防に努めてまいりますので、ご家庭でのご理解とご協力をお願いいたします。

つき組（4歳児クラス）は21日「高尾の森わくわくビレッジ」にお弁当を持って遠足に行きます。豊かな自然に包まれて、太陽と風、木々や草花、虫やビオトープの生き物に触れ、空や葉っぱの色、自然のにおいを感じます。でも、一番楽しみなのは、お弁当。二番目はお友だちと遊ぶこと。いつもより広い場所でゆったりした時間を過ごしたいと願っています。

東京YMCAでは、未就学児の教育・保育に携わる職員が11月に合同で研修を行います。今回は春に行った「包括的性教育」
<https://www.akashi.co.jp/book/b667078.html>の実践報告を行います。



0・1・2歳児：園庭の落ち葉

「生は性」に関わっているという考えをカウンセリングでは大切にしています。私たちも日々の保育を振り返り、「性」を含む人権について、学びを深めたいと願っています。

保育園が子どもも、大人（保護者も職員も）も自分の居場所になれば、どんなにすてきなことでしょう。人権が大切にされて、一人ひとりが「自分であること、自分らしくいること、自分が好きだ」と思えたら、幸せな人生を送る事ができると思います。

いつもは元気な子ども達。けれども、ケガや病気になる事も、心が折れる辛い出来事もないわけではありません。もちろん大人は今までに通ってきた道です。楽しい事もつらい事もありました。だからこそ、今、生きていることをありがたく思います。愛されて守られて、生きている私。だから、たくさん足りない事もあるけれど、その自分を自分で認めていきたいと思っています。

12月20日に保育園でクリスマスをお祝いします。私に注がれた神様の愛を、今度はほかの人にも注ぐ事ができたら嬉しいと思います。 今井世都



1歳児：木漏れ日の砂場



2歳児：バッタ



幼児室：ジオラマ



3・4・5歳児：マラソンスタート